

# 校長室だより

大成功！音楽フェスティバル

国立市立国立第七小学校長 森田弘文

平成 28 年 10 月 24 日 NO.21 (119)



10月23日（日）芸術の秋を彩る国立市青少年音楽フェスティバルが、くにたち市民総合体育館で行われました。これには、国立第七小学校の代表として5年生が参加し、素晴らしいパフォーマンスを披露してくれました。1学期から少しずつ準備を進め、5年生全員で作上げた見事なものです。これまでの練習の成果を存分に生かし、素晴らしい出来栄で、感動・感激の拍手が会場いっぱいに響き渡りました。歌の命は歌詞にあるといわれますが、国立七小でのこの活動は、詩的表現を新しく音楽に取り入れた学習として行ってきたものです。子供たち一人一人が自分の思いを込め、創造する喜びにあふれる立派な作品でした。オリジナリティの高さと様々な変化に富み、谷保レンジャーまで登場するなど、愉快な遊び心満載の内容には感心するばかりでありました。子供たちの達成感あふれる誇らしげな笑顔が、とても明るく輝いていました。以下、児童による紹介文と詩の全文を記します。

みなさん、こんにちは。国立第七小学校の5年生です。わたしたちは、日ごろから言葉を大切にしています。思いを伝える言葉、考えを伝える言葉、動きを伝える言葉、ものを教える言葉、人を助ける言葉、人を傷つける言葉、言葉は、すごい力をもっています。わたしたちは、国立第七小学校の大好きなところを言葉で表現し、詩にしました。わたしたちがこれから行うものは、合唱でも合奏でもありません。言葉と音楽を組み合わせ、リズムを取り入れた「わたしたちの国立第七小学校」という作品をつくりました。どうぞ聞いてください。

わたしたちの国立第七小学校

わたしたちの 国立第七小学校  
わたしたちの三つの目標

かしこく

やさしく

げんきよく

毎日ていねいに学習します

いつも友達に優しくします

外で元気に遊びます

地域の方々が見守ってくれます

あいさつをしつかりします

自慢いっぱい国立第七小学校

☆『展覧会の絵』からプログラムナード

（ピアノとリコーダー演奏）

花いっぱい国立七小

春 夏 秋 冬 きれいな景色

春は桜 一年生を優しく迎えてくれる

夏はひまわり 太陽に向かって背比べ

秋はコスモス 背筋を伸ばし 優しくうなずく

そして 冬 しーんと静まりかえる冬

校庭に花はないけれど：

春からたくさん花を咲かせてくれた土を休め

次の春に向けた準備が進む大切な季節

国立の自然をいっぱい教えてくれる校長先生

みんなと一緒に花壇を作ります

花が育つと私たちの心も育ちます

わたしたちの校歌

たびてみたい

いろんなところ

はなしてみたい

しらないひとと

ちきゅうはとつと

たのしいほしだ

まなぶ

みとめる

たすけあう

からだこころ

すこやかに

☆校歌（ピアノ・リコーダー演奏）

休み時間 あつちこつちで鬼ごっこ

輝く笑顔が走る 踊る 跳びまわる

チャイムが鳴った みんなの顔が引き締まる

笑顔がいっぱい

笑顔がいっぱい

輝いている

わたしたちを見守ってくれる素敵なたた

家族 見守り会 地域 谷保天満宮

そして 谷保レンジャー！

☆ポディーパーカッション

☆（ピアノ演奏）

国立第七小学校を見守ってくださいる多くの方々

本当にありがとうございます

これからもどうぞよろしくお願いします

## 桜守の活動！ご苦労様でした

10月20日（木）1・2年生に桜守の活動が行われました。朝から秋の陽射しがキラキラと輝く晴天のもと、皆で大学通りを目指して歩きました。今日はどんなことをするのかと、わくわくドキドキの1・2年生131名。色づいた樹々も少しずつ見られ、心地よい季節を味わいながら笑顔で現地に到着しました。桜守の大谷一彦さんをはじめ、多くのボランティアの人達と一緒に菜の花の種をたくさん蒔くことができました。春の日に、暖かな風を受けて咲く黄金色の花が、今からとても楽しみです。

2年生達が種蒔きをした場所のすぐ横に、高さ3m程の「紅しだれ桜」の幼木が立っています。近くにはプレートがあり、それには、この木が今から4年前の1・2年生が植栽したものを記すと同時に、「バスの窓からも素敵に見えると嬉しいです。」と書かれていました。明年、菜の花と一緒にうす紅色の花を咲かせてくれることを楽しみにしていたいものです。なお、この場所とは、桐朋学園前という停留所のすぐ横です。バスに乗って、「七小の子供たちが植えたものだ。」と気がついてほしいと思います。